

福島県指定天然記念物

ふるだて  
古館のサクラ



【榊衝神社／ほこつきじんじゃ】

榊衝神社は、『延喜式神名帳』に式内社の一つとして登載されている由緒の古い神社です。本殿の裏に位置する亀居山中腹には磐座(いわくら)も残されています。社殿はすべて江戸時代に白河藩主によって寄進されたもので、本殿(福島県指定重要文化財)の他、拜殿、神楽殿、随神門(以上、長沼町指定文化財)等が現存しています。また、社殿内には江戸時代の初めから明治時代にかけて建物の修理や屋根の葺き替えなどの経緯を示した棟札(12枚:福島県指定重要文化財)や奉納された絵馬(一対:長沼町指定文化財)等、多くの文化財が今に伝えられています。



指定年月日／昭和51年5月4日

所有者(管理者)／大河原 徳光

所在の場所／福島県岩瀬郡長沼町大字榊衝

字古館66番地の1

概要

(1)樹種…エドヒガンのシダレ

(2)樹高…17メートル

(3)根周り…5・9メートル

(4)目通り幹周り…4・4メートル

(5)推定樹齢…450年

開花時期／4月上旬

その他指定及び登録

福島県緑の文化財(登録207号)

サクラの特徴

エドヒガンのシダレとしては、福島県内

有数の巨木で、満開時には樹全体が白色に

近い淡いピンク色の花で覆われます。

この桜は、南北朝争乱の頃に当地を治め

ていた二階堂家によって築城されたと伝え

られる館跡の東に隣接するように立って

り、木の根本に不動尊の石像が祀られて

ることから、不動様の桜とも呼ばれています。

交通

①JR須賀川駅より長沼行き(矢田野経由)

バス40分／古館下車徒歩3分(福島交通)

②東北自動車道須賀川ICより国道118号

線を会津方面へ15分